

柑芦会 本部 ニュース

第 36 号 2022. 12. 1.



wakayama
univ.

国立大学法人
和歌山大学

—そして ここから—



1. 支部だより

山陰支部

山陰支部・第66回総会開催報告

幹事長 友定雅紀 大 24

「元気だったかいねえ…」一懐かしい顔が集い、対面による山陰支部総会を去る 11 月 5 日（土）、4 年ぶりに開催しました。

振り返れば 2019 年は現職幹事長の緊急入院、そして現職支部長の急逝と続きやむなく総会を中止。さらにコロナの猛威で 2020・2021 年も自粛を余儀なくされ、言わば支部活動が存続の瀬戸際に立たされた状況でした。そして今年。コロナ第 7 波がようやく落ち着きかけた 8 月末、支部長や相談役会員諸氏と慎重に協議を続け、「開催ゴー」を決定。東西 300 キロに及ぶ山陰支部ワイドエリアの中間地・米子市を会場としました。

久々の開催で出席状況が危ぶまれましたが、当日は島根・鳥取両県から会員 5 名、また来賓として本部から北村会長と穂永編集委員長、そして神戸支部・吉竹幹事長にもお出かけいただき、総勢 8 名での開催となりました。

吉村政憲支部長（大 17）、北村会長の挨拶に続いて総会議事へと進み、▽前年度会計報告▽監査報告▽新役員体制—などを承認。次年度総会はカニシーズンに合わせ、鳥取市で開催することを内定しました。

その後、懇親の部に移り益尾忠蔵相談役（大 10）の乾杯ご発声で開宴しました。出席者 8 名が近況報告や和太鼓の時のエピソードなど順次披露。時折り“ツッコミ”も入るなど楽しく聞き入りました。また、お開き間近となった頃、観光で山陰を訪れていた吉竹幹事長の同期（27 期）4 名がサプライズ参加、会場は一気に盛り上がりました。一興で友定も拙いピアノを弾かせていただくなど、大いに語り飲み賑やかに交流の輪を広げました。そして充満した熱気そのままに、恒例の寮歌「花の霞に」を大合唱、三谷美鶴氏（大 12）の挨拶で中締めとなり、再会を誓い合って無事に山陰支部総会を終えることが出来ました。

コロナの影響が色濃く残るなか、10 期から 41 期までの世代を超えた交流が出来たこと、また北村会長からは▽夜間だけでなく昼間の総会開催▽学部の枠を超えた開催▽現役学生への声掛け—といった今後につながる貴重なアドバイスもいただくなど、収穫多き総会となりました。山陰支部としてしっかり検討したいと思います。来年はさらなる充実を目指して。

<山陰支部新役員体制 敬称略>

支部長 吉村 政憲 (大学 17 期)
副支部長 秋山 誠司 (大学 41 期)
幹事長 友定 雅紀 (大学 24 期)
相談役 益尾 忠蔵 (大学 10 期)

以上

<出席者全員での記念撮影>

<寮歌斉唱>



姫路支部

令和4年度 姫路支部総会 リアル開催

前支部長 毛利恵行 (経 25 期)

日時：令和4年11月5日(土) 午前11時より3時間

場所：ホテル日航姫路 (会議室、中華「桃李」)

姫路支部では元支部長 前田昌和先輩 (経 19 期) の時より同窓会を「和歌山大学同窓会」として経済学部だけにとどまらず、4学部の同窓会と位置づけ総会を開催して来ました。

総会にはいつもご夫婦で参加して頂いていた北盛夫先輩 (経 3 期) がこの夏にお亡くなりになられ、北道子先輩 (経 5 期) も喪中という悪条件の下、コロナ禍により2年間総会を実施出来ていなかったため、3年ぶりの総会にどれだけの人が集まるのかヒヤヒヤしながら案内状を送ったものです。3年前は3人のご来賓を含め20名での総会でしたが、今年は観光学部からの参加はなかったものの、教育学部より3名、システム工学部より1名、ご来賓2名の参加を含め、総勢18名での総会となりました。

まず、総会は1時間。スクール形式で長テーブルの真ん中には透明の衝立を立て、広いスペースで密にならないよう、また短時間で行えるよう工夫し、懇親会場とは別の会議室で行いました。まず黙禱を捧げ、以下通常通りの総会が粛々と進められました。事前に神戸支部からお借りしていた「和歌山大学物語」を放映する予定ではありましたが、長時間になることを危惧し、DVDを参加者へのお土産としてお持ち帰り頂き、ご自宅で鑑賞してもらうことにしました。

そして姫路支部では総会に合わせて「ミニ講話」を例年実施しており、今年は栄藤雅雄幹事長 (経 31 期) から大学時代の思い出を披露していただきました。内容は高松キャンパス内にあった紀雲寮での思い出を「寮長」という立場から栄藤幹事長にしか語られない話やストームにまつわる今ならあ

り得ない思い出話を当時の学生生活の模様を思い浮かべながら聞いておりました。

そして記念撮影の後、場所を1階下の中華「桃李」に移し、第二部の懇親会の開宴です。この度の総会は改選の時期でもあり、新支部長に選任された黒田俊行氏（経29期）の発声により乾杯の音頭が採られました。本当に久しぶりの方々にもリアルにお会い出来、懐かしくそして楽しい祝宴です。今年は年長の方より順にお一人ずつこの三年間での出来事を話していただく『近況報告会』を食事に舌鼓を打ちながら行いました。近況報告でのトピックスですが、妻 毛利洋子（教27期）が九州の旅行先、二日市温泉で朝風呂をしようとした際、湯船に浮かんでいる死体に遭遇したことです。普通は「キャー」と悲鳴を上げて逃げ出すと思うのですが、彼女はその物体を湯船から引き上げ助けようと試みたようです。さすが和歌山大学卒の元教員は違うなと脱帽致しました。部屋に帰って来た時は呼吸が荒かったので事故の顛末を聞いた後「1000万円の宝くじに当たるよりもラッキーと思ったら良いよ。」と慰めたことでした。

いろいろな出来事や思い出話は尽きずあっという間に予定の2時間は過ぎて行きました。残念ながら恒例の「花の霞に」はコロナ禍の悪影響に鑑み自粛いたしました。

そして総会后さらに場所を移し、新執行部の呑み助だけでさらに消化不良だった話題に再び花を咲かせました。ホント、「リアルの総会・懇親会はいいなあ」と思った次第です。



上段：出席者全員での記念撮影

下段左：栄藤幹事長

下段右：新会員

大塚友輝（大70）さん

2. ご報告

小田 章先生のご遺稿見つかる

会長 北村修一

10月上旬に発行された機関誌「柑芦」は皆さんのお手許にも既に届いていることと存じます。ご承知のように今回の第53号は「和歌山大学経済学部創立100周年記念号」でした。そしてその特集の主要部分は、歴代の学部長9名の先生方からの特別寄稿でした。ところが、お気づきの方もおられたことと存じますが、その中には平成7（1995）年から平成9（1997）年まで第25代学部長を務められ、平成14（2002）年から平成21（2009）年のご退官まで第14代学長を務められた小田章先生の寄稿がありませんでした。

実は、当然のことではありますがお田先生へは真っ先に私からご寄稿をお願いしており、その後も何度かお電話とメールにより原稿の状況をお尋ねしていたのですが、原稿締切りの直前の7月19日に先生が急逝されたとの報に接しました。そこで編集委員会ではご寄稿については諦めざるを得ず、急きょ中田陽之様と由井幸枝様に小田先生の追悼文を作成いただき、それを掲載するという対応をいたしました。

第53号が発行されてしばらくした10月21日の朝、先生のご息女である小田由布子様から私にお電話があり、「実は、父親から頼まれて7月18日の朝に柑芦会宛の原稿をメールでお送りしたのですが、手違いのためにどうやら届いていなかったことに気づいたので、どうすればよいのかご相談したくてお電話しました」とのことでした。

そのことを知った私の驚きと感動は皆さまにもおわかりいただけることと存じます。小田先生は神戸大学大学院修了の翌年の昭和46（1971）年から平成21（2009）年まで38年間の長きにわたり和歌山大学一筋にご勤務されました。この間、国公立大学の法人化移行など数々の難題に対処しつつ、国公立大学で唯一の観光学部の設置、和歌山大学基金の創設などをはじめとする多くの偉業を成し遂げていただきました。

私は即座に、小田由布子様「小田先生がお亡くなりになるまさに前日まで和歌山大学と経済学部のことをお考えいただいていたことに感動しました。様々な理由から第53号に間に合わなかったことはたいへん残念ですが、このご遺稿は是非とも柑芦会の皆さんへご披露させていただきたいので、今からでもお送りいただきたい」とお願いいたしました。

そして今、そのご遺稿は私の手許にあります。しかしながらA4で9枚に及ぶ原稿はかなりの長文であり、また急いでお書きいただいたせいか、内容を精査しなければならない部分もありますので、この全文は次号「柑芦誌（54号）」（2023年10月発行予定）に掲載し、同時に柑芦会のホームページにも掲載していつでも何度でも読んでいただけるようにしたいと考えております。

皆さまには、とり急ぎ小田章先生のご遺稿が見つかったこと、そしてその貴重なご遺稿を大切に保存させていただく、ということをご報告させていただきます。

併せて、和歌山大学と経済学部のために人生の大半を捧げてくださった小田章先生に謹んで感謝申しあげ、改めて小田先生のご冥福を心からお祈り申しあげます。

合 掌

3. 事務局より

柑芦会会長・副会長会開催

12/3 会長・副会長会開催のご連絡

日時 : 2022年12月 3日(土) 10:30~11:45(予定)
方式 : 京都四条 第8長谷ビル 8階会議室
出席者 : 会長、副会長、監事、事務局
議事 : 1) 2023年度 活動方針(案)
2) 2022年度収支見込みと2023年度予算案
3) その他 スケジュール確認等

年末年始休暇

柑芦会本部事務所の年末年始休暇は、下記のとおりとさせていただきます。

12月29日(木)~1月4日(火)

以上

■ 読者の皆様からの「投稿」もお待ちしています!


(注)編集の都合上、次号に回る場合や文字数の調整をさせていただく場合があることをお含みください。

和歌山大学経済学部同窓会 柑芦会 本部 事務局

〒540-0012 大阪府中央区谷町 4-4-17 ロイヤルタワー大阪谷町 207号

Tel:06-6941-4986 Fax:06-6947-7925 E-Mail: honbu@kourokai.org



柑芦会ホームページ QRコード 

「柑芦会ホームページ」(公開サイト) <https://dousoukai.site/kourokai/>



フェイスブック「柑芦会オフィシャルページ」

(非公開グループ)
